

# 令和1年度 事業報告書

自 2019年1月1日 至 2019年12月31日

一般財団法人 日本ボクシングコミッション

## 2019年度事業報告書

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

### 1 業務管理について

#### (1) JBCルールを改定

2019年4月1日より改訂。

#### (2) 査定制度の導入

・稟議書・伺書の標準化、出張申請の適正化を実施した。

### 2 試合管理に関して

(1) 世界(男子27/女子9)、東洋太平洋(男子16/女子6)、WBOアジアパシフィック(男子20/女子1)、日本(男子30/女子9)のタイトルマッチ及びその他合計177興行の試合管理を行った。

#### ●内訳

地区	2019	2018	差
東京	98	105	-7
中部	16	16	0
関西	48	52	-4
西部	15	22	-7
合計	177	195	-18

(2) 選手、マネージャー、他ボクシング従事者に対する資格審査並びにライセンスを発給した。ライセンスの発行数は、4,078名(内：外国人ボクサー225名)

#### ●内訳

種別	2019	2018	差
ボクサー	2,068	2,181	-113
男子	1,929	2,041	-112
女子	139	140	-1
プロモーター	63	62	1
クラブオーナー	274	275	-1
マネージャー	474	416	58
トレーナー	570	617	-47
セコンド	390	386	4
マッチメーカー	4	4	0
レフェリー	115	135	-20
タイムキーパー	13	12	1
アナウンサー	8	9	-1
ドクター	94	92	2
進行	5	7	-2
合計	4,078	4,196	-118

●ボクサーライセンス取得者（）内は女子ボクサー

	2019	2018	差
A級	566(45)	646(39)	-80
B級	245(23)	256(30)	-11
C級	1118(71)	1279(71)	-161
合計	1929(139)	2041(140)	-112

(3) プロボクサー新人テスト実施をした。

●受験者数

地区	2019	2018	差
東京	316	315	1
中部	56	51	5
関西	131	96	35
西部	60	78	-18
合計	563	540	23

(4) 日本ランキングを決定し発表した。

ランキング委員会を開催した。(月例)

●メンバーは、専門誌記者、一般紙・スポーツ紙記者、ボクシングアナリスト、JPBA、JBC

(5) 試合役員研修会(勉強会)を実施した。

各地区の状況は、東京地区9回、関西地区3回。

内容は、採点基準、レフェリング(反則処置)、事故防止等であった。

### 3 安全防護に関して

(1) 関西地区で医事講習会を開催した(関西事務局管轄)。

(平成31年2月23日、大阪産業創造館5F研修室)

① 講師

笠原正登医師 奈良県立医科大学臨床実証学講座教授  
『外傷とダメージ』

② 参加者

40名

③ 内容

●脳の仕組みや頭部外傷が起こるメカニズム、胸部外傷や腹部外傷の仕組みなどが丁寧に説明された。

(2) JBC・JPBA合同医事講習会を開催した(東京本部管轄)。

(令和元年8月7日、後楽園ホール5F展示会場)

① 講師

谷諭医師 東京慈恵会医科大学附属病院脳神経外科教授

『慢性外傷性脳症について』

野中雄一郎医師 東京慈恵会医科大学附属病院脳神経外科診療部長

『レネリオ・アリザラ選手リング事故報告』

大槻穰治医師 東京慈恵会医科大学附属第三病院救急部教授

『ボクシング競技における各種統計』

近藤衣美 国立スポーツ科学センター 管理栄養士

『脱水減量の危険性と減量後の最適なリカバリー方法』

② 参加者

103名

③ 内容

●脳震盪が脳に及ぼす影響の一つである慢性外傷性脳症のうち、いわゆるパンチドランカーの仕組みや発症過程につきスライドを用いて詳細に説明された。

●レネリオ・アリザラ選手のリング事故報告を通じ、急性硬膜下血腫の仕組みがCT画像を交え詳しく解説された。

●各種統計を用い、業界関係者に対する安全意識の向上、啓蒙がなされた。

(3) リング事故(急性硬膜下血腫受傷)

①レネリオ・アリザラ(フィリピン)が3月31日横浜大さん橋ホールにおいて、溜田剛士(大橋)との6回戦で6回TKO負け後、急性硬膜下血腫にて救急搬送され、開頭手術を行った。現在はフィリピンに帰国し、日常生活を送る。

### 3 国際交流について

(1) IBF(国際ボクシング連盟)第36回年次総会

(5月27日～6月1日、中国・マカオ)

協議事項

\*オフィシャルセミナー \*各地域総会 \*ランキング委員会 \*指名挑戦者確認

(出席者) JBC 関係: 安河内剛本部事務局長、宮崎久利、野田昌宏、加藤孝雄  
村瀬正一、染谷路朗

JPBA 関係: 本田明彦(帝拳)、鈴木真吾(角海老宝石)

ジョー小泉(リングジャパン) 他

(2) WBC(世界ボクシング評議会)第57回年次総会

(10月20日～10月26日、メキシコ・カンクン)

協議事項

\*オフィシャルセミナー \*各地域総会 \*ランキング委員会 \*指名挑戦者確認

(出席者) JBC 関係：安河内剛本部事務局長 宮崎久利  
JPBA 関係：本田明彦 (帝拳)、鈴木真吾 (角海老宝石)  
ジョー小泉 (リングジャパン) 他

(3) WBO (世界ボクシング機構) 第32回年次総会に参加した。

(令和元年12月2日～12月5日、東京)

- ① 各種報告
- ② フリーディスカッション

(出席者) JBC 関係：秋山弘志理事長他  
JPBA 関係：本田明彦 (帝拳)、花形進 (花形) 他

#### 4 ボクシング功労者の表彰について

2018年度年間優秀選手表彰式を開催した。

(1) 日時

平成31年2月7日

(2) 場所

東京ドームホテル

(3) 表彰選考会

平成31年1月22日実施

(4) 表彰選手

① プロの部 10部門 (20名)

(5) 各種チャンピオンの引退

- 元 WBA 世界ライト・フライ級チャンピオン 田口良一 (ワタナベ)
- 元 WBO 世界ミニマム級チャンピオン 福原辰弥 (本田フィットネス)
- 元 WBA 世界スーパー・フライ級チャンピオン 河野公平 (ワタナベ)
- 元 OPBF 東洋太平洋&WBO アジアパシフィック  
スーパー・フェザー級チャンピオン 仲村正男 (渥美)
- 元 OPBF 東洋太平洋&日本ライト級チャンピオン 荒川仁人 (ワタナベ)

(6) 世界王座獲得

- IBF 世界バンタム級チャンピオン 井上尚弥 (大橋)
- WBO 世界スーパー・フライ級チャンピオン 井岡一翔 (Reason 大貴)
- IBF 世界スーパー・バンタム級暫定チャンピオン 岩佐亮佑 (セレス)
- WBO 女子世界ミニマム級チャンピオン 佐伯霞 (真正)
- WBO 女子世界スーパー・フライ級チャンピオン 吉田実代 (EBISUK' s BOX)

5 広報普及活動について

- (1) ボクシング広報誌を発刊した。  
毎月発刊
- (2) ボクシング年鑑を発刊した。  
平成31年4月1日
- (3) ホームページの活用  
最新情報を掲載した。
- (4) JCL ボクシング全国大会の開催に協力した。
  - ①日時  
令和元年9月8日
  - ②場所  
東京・後樂園ホール
  - ③参加者  
140名

6 記録、資料について

選手記録（戦績、診断の記録カード）、ボクシングに関する資料の収集、作成並びに保存を継続的に行った。

7. その他

- (1) 理事会を2回開催した。
  - ①平成31年2月26日
  - ②令和元年12月20日
- (2) 評議員会を1回開催した。
  - ①平成31年2月26日
- (3) 物故者  
2019年度にご逝去されたボクシング関係者は6名であった。
  - 小坂照男（元東洋&日本ライト級王者）4月3日ご逝去（78歳）
  - 勝又行雄（元東洋Jライト級王者）7月28日ご逝去（84歳）
  - 三迫仁志（元東洋フライ級王者、三迫ジム前会長）8月1日ご逝去（85歳）
  - 中村剛（元東洋フライ級王者）8月ご逝去（76歳）
  - 小島祥一（前尼崎ジム会長）8月13日ご逝去（71歳）
  - 山上哲也（元日本B級王者、FLARE 山上ジム会長）9月11日ご逝去（77歳）

#### (4) 処分関係

2019年度は、15案件26人を処分した。内容は以下の通りである。

① 水野拓哉（松田：ボクサー）の件

平成30年9月1日、複数の相手に対し暴行傷害事件を起こし逮捕された。

●水野拓哉を平成30年9月1日より6ヶ月のライセンス停止処分。

●松田敏二（松田：クラブオーナー）を嚴重注意処分

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成31年1月21日付）

② マーカス・スミス（平仲BS：ボクサー）の件

平成30年12月9日の試合前日計量において3.4kg体重超過し計量失格となった。

●マーカス・スミスを平成30年12月8日より1年間のライセンス停止処分。

●平仲絢子（平仲SB：マネージャー）を嚴重注意処分

理由－マネージャーとしての管理監督責任。

（平成31年1月21日付）

③ 越島二郎（JBC関西：タイムキーパー）の件

平成30年12月24日、OPBF東洋太平洋バンタム級王座決定戦において計測ミスを行った。

●越島二郎を平成30年12月29日よりライセンス無期限停止処分。

●小池幸弘（JBC西部：スーパーバイザー）を謹慎処分。

理由－スーパーバイザーとしての管理監督責任。

●浦谷信彰（JBC本部事務局長兼関西事務局長）を嚴重注意処分

理由－JBC関西事務局長として任命責任

（平成31年2月18日付）

④ 枝川孝（六島：クラブオーナー）の件

平成30年12月24日、OPBF東洋太平洋バンタム級王座決定戦の際、レフェリーの裁定を不服とし、インターバルにリングエプロン上より威圧的な態度で執拗な抗議をした。

●枝川孝を嚴重注意処分。

（平成31年3月4日付）

⑤ 信岡克夫（JBC関西：タイムキーパー）の件

平成31年4月5日、ノンタイトル8回戦において計測ミスを行った。

●信岡克夫を平成31年4月5日よりライセンス無期限停止処分。

●今村朋宏（JBC関西試合役員）を嚴重注意処分

理由－タイムキーパーの補助としての責任。

●坂本相悟（JBC関西：スーパーバイザー）を戒告処分

理由－スーパーバイザーとしての管理監督責任。

（平成31年4月12日付）

- ⑥ 郷司利也子（川崎新田：ボクサー）の件  
平成 31 年 3 月 13 日の試合前日計量において減量失敗による体調不良を理由に計量失格となり、試合をキャンセルさせた。  
●郷司利也子を嚴重注意処分。  
●新田渉世（川崎新田：クラブオーナー）を嚴重注意処分  
理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。  
（平成 31 年 5 月 24 日付）
- ⑦ 荒瀬あかり（寝屋川石田：ボクサー）の件  
平成 31 年 4 月 26 日の体重が落ちないことを理由に前日計量会場に現れず失踪し、試合をキャンセルさせた。  
●荒瀬あかりを平成 31 年 4 月 26 日より 6 ヶ月のライセンス停止処分。  
●石田順裕（寝屋川石田：クラブオーナー）を嚴重注意処分  
理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。  
（平成 31 年 5 月 24 日付）
- ⑧ 樫見直幸（カシミ：クラブオーナー）の件  
平成 31 年 4 月 21 日の女子日本フェザー級王座決定戦の試合後、試合中のレフェリングを不服とし、レフェリーを大声で呼びつけ、またレフェリーの首を押さえつけるなど、通常の抗議を逸脱した。  
●樫見直幸を嚴重注意処分。  
（令和元年 5 月 31 日付）
- ⑨ 渡辺均（ワタナベ：クラブオーナー）の件  
令和元年 5 月 1 日、日本フェザー級タイトルマッチにおいて、第 8 ラウンド終了後のインターバルにスーパーバイザーが集計している採点表を後ろからのぞき見た。  
●渡辺均を戒告処分。  
（令和元年 5 月 31 日付）
- ⑩ 岡田将人（JB SPORTS：ボクサー）の件  
令和元年 6 月 25 日の試合前日計量において、計量会場へバイクで向かう途中、自損事故を起こし怪我のため、試合をキャンセルさせた。  
●岡田将人を嚴重注意処分。  
●森川常次（JB SPORTS：クラブオーナー）を嚴重注意処分  
理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。  
（令和元年 9 月 2 日付）
- ⑪ 小嶋夏生（石神井スポーツ：ボクサー）の件  
令和元年 7 月 29 日の試合前日計量において減量失敗による体調不良を理由に計量会場へ現れず計量失格となり、試合をキャンセルさせた。小嶋選手は平成 30 年 5 月 1 日の試合の前日計量でも同様に試合をキャンセルさせ嚴重注意処分を受けており、今回が二度目である。  
●小嶋夏生を令和元年 7 月 28 日よりライセンス無期限停止処分。  
●奥田喜久二（石神井スポーツ：クラブオーナー）を令和元年 7 月 28



日よりライセンスの3ヶ月停止処分  
理由ークラブオーナーとしての管理監督責任及び奥田会長は今回が  
4度目の処分。

(令和元年9月2日付)

⑫ 清水博（マッチメーカー）の件

平成31年1月18日、ニューヨークで行われたIBF世界スーパー・バンタム級タイトルマッチのマッチメイクを手がけた際、ファイトマネーや航空券などにおいて横浜光ジムに虚偽の報告をし、国外関係者とも仲介手数料の不払いなどでトラブルを起こした。これらの事態收拾を図らず、各関係者に対し誠意ある対応をとらなかった。

●清水博をライセンス無期限停止処分。

(令和元年9月2日付)

⑬ 大保龍斗（横浜さくら：ボクサー）の件

令和元年8月8日、日本ライト・フライ級タイトルマッチの試合前日計量において計量失格となり、試合をキャンセルさせた。

●大保龍斗を嚴重注意処分。

●平野美智子（横浜さくら：クラブオーナー）を嚴重注意処分

理由ークラブオーナーとしての管理監督責任。

(令和元年9月30日付)

⑭ 荒巻浩治（JBC西部：タイムキーパー）の件

令和元年9月23日、ノンタイトル6回戦において計測ミスを犯した。

●荒巻浩治を令和元年9月23日よりライセンス無期限停止処分。

●河島太（JBC西部：タイムキーパー）を嚴重注意処分

理由ークラブオーナーの補助としての責任。

(令和元年10月17日付)

⑮ 小池幸弘（JBC西部：スーパーバイザー）の件

令和元年9月23日、ノンタイトル6回戦において、荒巻浩治タイムキーパーが計測ミスをした際、スーパーバイザーを務めていた。平成30年12月24日、大阪で行われたOPBF東洋太平洋バンタム級王座決定戦におけるタイム計測ミスの際もスーパーバイザーを務めており、今回が二度目である。

(前回は謹慎処分)

●小池幸弘を令和元年9月23日よりライセンス無期限停止処分。

(令和元年10月17日付)

以上